

資料 2

平成 29 年度

歳入歳出決算補充説明書

平成 30 年 11 月

農林水産部

農林水産部の所管する平成 29 年度歳入歳出決算につきまして、お手元の「平成 29 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」に基づき、ご説明申し上げます。

【一般会計の歳入決算】

まず、一般会計の歳入決算について、ご説明申し上げます。

予算現額	347 億 2,777 万 311 円
調定額	246 億 9,447 万 2,326 円
収入済額	246 億 9,167 万 6,038 円
収入未済額	279 万 6,288 円

以下、項目ごとにご説明申し上げます。

第 7 款 分担金及び負担金

第 1 項 分担金

第 1 目 農林水産業費分担金（40 頁）

予算現額	4 億 2,610 万 3,980 円
調定額	1 億 9,280 万 5,148 円
収入済額	1 億 9,280 万 5,148 円

これは、主として公共事業の地元分担金であります。

なお、予算現額に対して、2 億 3,329 万 8,832 円の減収となりましたが、これは主として、

県営かんがい排水事業費地元分担金	▲1 億 1,333 万 5,179 円
経営体育成基盤整備事業費地元分担金	▲1 億 1,181 万 8,729 円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
県営かんがい排水事業費地元分担金	45,933,821円
経営体育成基盤整備事業費地元分担金	98,352,251円

第2項 負担金

第3目 農林水産業費負担金 (42頁)

予算現額 12億 1,634万 1,675円

調定額 8億 7,235万 3,582円

収入済額 8億 7,235万 3,582円

これは、主として公共事業の市町負担金であります。

なお、予算現額に対して、3億 4,398万 8,093円の減収となりましたが、これは主として、

県営かんがい排水事業費負担金 ▲1億 3,576万 96円

湛水防除事業費負担金 ▲ 4,919万 9,400円

経営体育成基盤整備事業費負担金 ▲1億 4,136万 9,967円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
県営かんがい排水事業費負担金	278,075,331円
湛水防除事業費負担金	102,936,600円
経営体育成基盤整備事業費負担金	268,387,353円

第8款 使用料及び手数料

第1項 使用料

第5目 農林水産使用料 (50頁)

予算現額	1,022万3,000円
調定額	1,029万1,887円
収入済額	1,029万1,887円

これは、農業大学校授業料、漁港施設使用料等の収入であります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
農業大学校授業料	4,860,600円
漁港施設使用料	2,136,199円
建物使用料	2,108,568円

第2項 手数料

第5目 農林水産手数料 (60頁)

予算現額	5,693万6,000円
調定額	5,887万620円
収入済額	5,887万620円

これは、家畜伝染病予防検査・注射手数料、漁船登録手数料等の収入であります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
家畜伝染病予防検査・注射手数料	20,187,790円
漁船登録手数料	17,414,500円
狩猟免許等手数料	10,162,700円

第9款 国庫支出金

第1項 国庫負担金

第5目 農林水産業費負担金 (72頁)

予算現額 64億 5,013万 9,000円
 調定額 38億 3,518万 7,000円
 収入済額 38億 3,518万 7,000円

これは、公共事業等の実施に伴う国庫負担金であり、予算現額に対し、26億 1,495万 2,000円の減収となりましたが、これは主として

県営かんがい排水事業費負担金 ▲ 8億 5,698万 5,000円
 県営ため池等整備事業費負担金 ▲ 1億 2,897万 5,000円
 経営体育成基盤整備事業費負担金 ▲10億 4,616万 7,000円
 農業用施設アスベスト対策事業費負担金 ▲ 1億 340万円
 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業費負担金
 ▲ 4億 6,750万円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
県営かんがい排水事業費負担金	921,246,000円
団体営ため池等整備事業費負担金	378,678,000円
経営体育成基盤整備事業費負担金	1,442,650,000円
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業費負担金	474,696,000円

第8目 災害復旧費負担金 (76頁)のうち、当部関係は、

予算現額 15億 7,816万 8,000円
 調定額 3億 1,549万 9,796円
 収入済額 3億 1,549万 9,796円

これは、団体営災害耕地復旧事業などに係るものであります。

なお、予算現額に対し、12億6,266万8,204円の減収となりましたが、これは主として、

団体営災害耕地復旧事業費負担金 ▲7億6,486万3,000円

林道災害復旧費負担金 ▲4億3,166万8,000円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
団体営災害耕地復旧事業費負担金	248,043,000円
林道災害復旧費負担金	58,594,000円

第2項 国庫補助金

第5目 農林水産業費補助金 (90頁)

予算現額 117億5,007万2,336円

調定額 95億6,941万9,976円

収入済額 95億6,941万9,976円

これは、農林水産業の事業実施に係る国庫補助金であります。

なお、予算現額に対し、21億8,065万2,360円の減収となりましたが、これは主として、

治山事業費補助金 ▲3億4,667万9,035円

水産物供給基盤整備事業費補助金 ▲2億8,177万9,000円

畜産収益力強化対策事業費補助金 ▲3億1,361万円

合板・製材生産性強化対策事業費補助金 ▲3億2,671万8,948円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
農山漁村地域整備交付金	1, 224, 527, 105円
水産資源環境整備事業費補助金	647, 967, 000円
多面的機能支払交付金	669, 496, 000円
合板・製材生産性強化対策事業費補助金	3, 301, 119, 052円

第3項 委託金

第5目 農林水産業費委託金 (110頁)

予算現額	5,572万5,000円
調定額	6,373万1,702円
収入済額	6,373万1,702円

これは、地域創生人材育成事業等に係る委託金の収入であります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
保安林整備事業費委託金	7, 678, 702円
国庫委託試験研究費委託金	8, 127, 000円
地域創生人材育成事業委託金	46, 548, 000円

第10款 財産収入

第1項 財産運用収入

第2目 利子及び配当金 (116頁)のうち、当部関係は、

予算現額	96万円
調定額	101万 525円
収入済額	101万 525円

これは、農地中間管理事業等推進基金等の利子収入であります。

第3目 特許権等運用収入（116頁）のうち、当部関係は

予算現額	707万 9,000円
調定額	720万 6,757円
収入済額	720万 6,757円

これは特許権の実施許諾に伴う収入であります。

第2項 財産売払収入

第1目 不動産売払収入（116頁）のうち、当部関係は、

予算現額	895万 4,000円
調定額	895万 4,055円
収入済額	895万 4,055円

これは、所管する普通財産の売払収入であります。

第2目 物品売払収入（116頁）のうち、当部関係は、

予算現額	5,304万 7,000円
調定額	5,873万 4,390円
収入済額	5,873万 4,390円

これは、畜産関係の試験研究に係る牛、豚等の売払収入等であり
ます。

第3目 生産物売払収入（118頁）のうち、当部関係は、

予算現額	8,773万 6,000円
調定額	8,725万 8,927円
収入済額	8,725万 8,927円

これは、生産種苗や農業試験・畜産関係等に係る野菜、生乳等の
売払収入であります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
農業試験関係生産物売払収入	34,994,026円
畜産関係生産物売払収入	30,595,186円
生産種苗売払収入	20,447,834円

第11款 寄附金

第1項 寄附金

第15目 農林水産業費寄附金 (122頁)

予算現額 15万円

調定額 15万円

収入済額 15万円

これは、野生生物保護啓発事業に対する寄附金であります。

第12款 繰入金

第1項 特別会計繰入金

第1目 他会計繰入金 (124頁)のうち、当部関係は、

予算現額 5,470万2,000円

調定額 5,470万1,576円

収入済額 5,470万1,576円

これは、就農施設等資金貸付事業等特別会計等からの繰入金であり
ます。

第2項 基金繰入金

第1目 基金繰入金（124頁）のうち、当部関係は、

予算現額 14億2,002万2,000円

調定額 13億6,527万7,676円

収入済額 13億6,527万7,676円

これは、みえ森と緑の県民税基金等からの繰入金であります。

なお、予算現額に対し、5,474万4,324円の減収となりましたが、これは、主として事業実績の減に伴い農地中間管理事業等推進基金等からの繰入金が減となったものであります。

収入済額の主なものは、

科 目（細節）	収 入 済 額
みえ森と緑の県民税基金繰入金	1,143,784,694円
農地中間管理事業等推進基金繰入金	97,472,957円

第13款 繰越金

第1項 繰越金

第1目 繰越金（126頁）のうち、当部関係は、

予算現額 8億3,082万 320円

調定額 8億3,082万 320円

収入済額 8億3,082万 320円

これは、平成28年度から平成29年度に繰り越した事業に係る特定財源であります。

第14款 諸収入

第4項 貸付金元利収入（128頁）のうち、当部関係は、

予算現額	1億9,016万1,000円
調定額	1億9,016万902円
収入済額	1億9,016万902円

これは、森林育成促進資金貸付金等に係る元利収入等であります。

収入済額の内訳は、

科 目 (目)	収 入 済 額
森林育成促進資金貸付金元利収入	95,000,000円
森林整備加速化・林業再生基金事業貸付金元利収入	80,000,000円
就農支援資金貸付金返還金収入	15,160,902円

第5項 受託事業収入

第4目 農林水産関係受託事業収入 (134頁)

予算現額	5億7,228万2,000円
調定額	3億8,649万6,349円
収入済額	3億8,649万6,349円

これは、競争的研究プロジェクト受託事業、漁港海岸保全受託事業等に係る収入であります。

なお、予算現額に対し、1億8,578万5,651円の減収となりましたが、これは、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
競争的研究プロジェクト受託事業収入	144,454,000円
漁港海岸保全受託事業収入	188,183,000円

第6項 収益事業収入

第1目 宝くじ収入 (138頁)のうち、当部関係は、

予算現額	9,711万 6,000円
調定額	9,079万 7,032円
収入済額	9,079万 7,032円

であります。

第8項 雑入

第2目 雑入（138頁）のうち、当部関係は、

予算現額	4,218万 4,000円
調定額	4,616万 2,022円
収入済額	4,616万 2,022円

これは、主として東日本大震災等の災害復旧対応に係る派遣職員の給与等負担金等の収入であります。

収入済額の主なものは、

科 目 (細節)	収 入 済 額
雑入	33,239,370円
国庫返還金等	10,689,429円

第3目 過年度収入（142頁）のうち、当部関係は、

予算現額	24万円
調定額	309万 1,288円
収入済額	29万 5,000円
収入未済額	279万 6,288円

これは、主として公用車にかかる弁償金等であります。

収入未済額は、新規就農者総合支援事業費補助金返還金及び延滞金等であります。

第5目 弁償金（142頁）のうち、当部関係は、

予算現額	31万 2,000円
調定額	71万 9,322円
収入済額	71万 9,322円

これは、交通事故に伴う弁償金で、収入済額は、公用車の修繕費用を事故の相手方から受け入れたものであります。

第6目 違約金及び延納利息（142頁）のうち、当部関係は、

予算現額	29万 6,000円
調定額	77万 1,474円
収入済額	77万 1,474円

これは、契約解除に伴う違約金等であります。

第15款 県債

第1項 県債

第4目 農林水産債（148頁）

予算現額	97億 6,700万円
調定額	66億 3,400万円
収入済額	66億 3,400万円

これは、県単治山事業費等の公共事業等への充当であります。

なお、予算現額に対して、31億3,300万円の減収となりましたが、これは主として、

県単治山事業費充当	▲8億 4,200万円
経営体育成基盤整備事業費充当	▲5億 4,500万円

県営かんがい排水事業費充当 ▲4億 500万円

治山事業費充当 ▲4億 300万円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

収入済額の主なものは、

科 目 (節)	収 入 済 額
県営かんがい排水事業費充当	484,000,000円
治山事業費充当	835,000,000円
県単治山事業費充当	1,571,000,000円
経営体育成基盤整備事業費充当	763,000,000円
国営等関連対策事業費充当	838,000,000円

第9目 災害復旧債（162頁）のうち、当部関係は、

予算現額 5,100万円

調定額 1,000万円

収入済額 1,000万円

これは、平成29年県営海岸保全施設等災害復旧事業費への充当であります。

なお、予算現額に対して、4,100万円の減収となりましたが、これは主として、

平成29年治山施設災害復旧事業費充当 ▲3,300万円

などで、主に事業の翌年度への繰越によるものであります。

以上が歳入の概要であります。

【一般会計の歳出決算】

引き続き、一般会計の歳出決算についてご説明申し上げます。

予算現額	463億	237万	9,311円
支出済額	354億	9,834万	9,186円
繰越額	99億	4,908万	9,200円
不用額	8億	5,494万	925円

以下、項目ごとにご説明申し上げます。

第6款 農林水産業費（304頁）は、

予算現額	446億	3,742万	2,311円
支出済額	351億	5,443万	7,060円
繰越額	89億	8,727万	200円
不用額	4億	9,571万	5,051円

繰越額の主なものは、

高度水利機能確保基盤整備事業費	18億	7,023万円
県営かんがい排水事業費	12億	7,064万7,000円
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業費	9億	1,471万5,000円
県単治山事業費	8億	7,148万5,000円

などであり、主な理由としましては、国の補正予算に伴う交付決定の時期などから、事業完了できなかつたことによる繰越と、公共事業において施工に伴う協議・調整等に不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

不用額の主なものは、事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残等であります。

以下、項目ごとにご説明申し上げます。

第1項 農業費 (304頁)

予算現額	106億 1,226万円
支出済額	101億 8,084万 2,989円
繰越額	1億 5,861万 1,000円
不用額	2億 7,280万 6,011円

繰越額の主なものは、

農業生産性向上に資する研究拠点整備事業費 7,541万 1,000円などであり、国の補正予算に伴う交付決定の時期などから、事業完了できなかったことにより、やむを得ず繰り越したものであります。

不用額の主なものは、人件費及び事業費精査による執行残であります。

以下、農業費の支出済額の内容をご説明申し上げます。

第1目 農業総務費 (304頁)

予算現額	83億 4,878万 2,000円
支出済額	81億 8,683万 1,602円
不用額	1億 6,195万 398円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
農政総務費 (人件費)	80億7,344万 167円	農林水関係職員分
農政総務費 (一般管理事業費他)	9,081万1,398円	消耗品、備品購入 他

第2目 農林水産振興費 (306頁)

予算現額 2,474万 1,000円

支出額 2,404万 177円

不用額 70万 823円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
ポストサミット三重の農林水産物の魅力総合発信事業費	726万9,350円	伊勢志摩サミットを契機として注目の高まった県産農林水産物や自然の魅力について、更なる魅力発信、需要拡大を図るため、首都圏での情報発信や「サミット」の開催等に要した経費。
県産品のエキスパート人材の育成・確保事業費	675万円	県産品の魅力を消費者に的確にPRする能力等を持つ「県産品のエキスパート人材」を育成するために要した経費。

第3目 農業改良普及費 (306頁)

予算現額 4,453万 5,000円

支出済額 4,139万 1,208円

不用額 314万 3,792円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
農業経営体育成普及事業費	4,139万1,208円	経営体育成等の効率的な普及活動の実施に要した経費。

第4目 農業振興費 (308頁)

予算現額 5,550万 3,000円

支出済額 5,351万 8,212円

不用額 198万 4,788円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
みえフードイノベーション総合推進事業費	4,585万2,237円	農林水産資源を活用して、生産者、食品産業事業者、ものづくり企業等の多様な業種や、大学、研究機関、金融機関、及び市町、県など産学官のさまざまな主体の知恵や技術を結集し融合することにより、地域がかかえる課題を解決し、新たな商品やサービスを革新的に生み出す仕組みづくりの推進に要した経費。
農山漁村新規ビジネス創出人材育成・確保事業費	357万1,100円	地域資源を活用した新たなビジネスを創出することができる人材を育成するために要した経費。

第5目 農林漁業担い手対策費 (310 頁)

予算現額	3 億 7,554 万 8,000 円
支出済額	3 億 5,719 万 9,860 円
不用額	1,834 万 8,140 円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
新規就農者総合 支援事業費	2 億 3,259 万 3,128 円	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、国の農業次世代人材投資事業を活用した、就農に向けた研修を受ける新規就農希望者への農業次世代人材投資資金（準備型）の交付、及び経営が不安定な就農初期段階における新規就農者への農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付に要した経費。
農業研修教育支 援事業費	7,779 万 4,598 円	農業大学校の機能充実を図り、高度な技術及び経営の実践的な教育並びに同校の県民へのPR（開放講座等）に要した経費。

第6目 農作物対策費 (312 頁)

予算現額	6 億 5,589 万円
支出済額	5 億 6,543 万 4,527 円
繰越額	6,000 万円
不用額	3,045 万 5,473 円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
農産物の生産振興事業費	4億1,263万9,258円	米・麦・大豆の生産性及び品質向上、また園芸特産物の生産振興等、「産地パワーアップ計画」に基づいた高収益な生産体系への転換に係る総合的支援などに要した経費。
卸売市場流通対策事業費	1億4,020万7,165円	卸売市場法及び三重県卸売市場条例に基づき、地方卸売市場等の指導・監督を行うとともに、三重県地方卸売市場の適正な運営を図るための特別会計への財源繰出に要した経費。

第7目 農水金融対策費 (314頁)

予算現額 6,432万3,000円

支出済額 6,378万1,028円

不用額 54万1,972円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
農業経営近代化資金融通事業費	6,256万3,028円	農業者の資本装備の高度化と経営の安定化及び近代化に必要な融通資金に対し、利子補給・補助を行い、適正かつ効果的な推進を図るために要した経費。

第8目 農業協同組合費 (314頁)

予算現額 55万5,000円

支出済額 48万9,433円

不用額 6万5,567円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
農協・農業共済指導事業費	48万9,433円	農業協同組合、農業共済団体等が地域農業の発展を支える組織として活発に活動できるよう、適正な事業運営の確保に向けた指導を行ったことに要した経費。

第10目 農林水産団体検査費 (314頁)

予算現額 152万2,000円

支出済額 131万4,441円

不用額 20万7,559円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
農林水産団体検査事業費	131万4,441円	農業協同組合、森林組合、水産業協同組合、土地改良区等、農業共済組合の健全な育成を図るため、組織、業務及び会計の処理状況について、法に基づく検査の実施に要した経費。

第12目 農業経営対策費 (316頁)

予算現額 3億5,201万1,000円

支出済額 3億1,870万1,516円

繰越額 2,320万円

不用額 1,010万9,484円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
獣害につよい地域づくり推進事業費	2億3,153万3,878円	鳥獣被害防止特別措置法に基づき市町が作成した被害防止計画を達成するため、鳥獣被害防止施設整備や地域協議会での取組を支援するとともに、追い払いや侵入防止柵の整備などに取り組む集落の被害防止活動の支援に要した経費。
野生鳥獣管理事業費	4,126万1,597円	鳥獣保護管理法に基づき、鳥獣保護管理員の配置による狩猟の取締りや指導、狩猟免許の交付及び更新、狩猟者登録事務を行うとともに、鳥獣保護管理事業計画に基づき、鳥獣保護区等の指定・管理やニホンジカの生息状況のモニタリング調査に要した経費。

第13目 農林漁業経営体育成費 (318頁)

予算現額 2億2,603万5,000円

支出済額 1億8,632万5,033円

不用額 3,970万9,967円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
農林水産業版プラットフォーム整備事業費	1億1,341万8,131円	担い手の確保・育成や効率的な経営体の育成などの重要課題に対応するため、県、関係機関、関係団体の連携を強化した総合推進体制（農林水産業版プラットフォーム）を確立するとともに、その中核となる支援機関である（公財）三重県農林水産支援センターによる新規就農者及び農業への企業参入の支援、担い手への農地の集積・集約化による農業経営の生産性の向上のための取組に要した経費。
地域農政推進対策事業費	7,290万6,902円	効率的かつ安定的な農業経営が、農業生産の相当部分を担うような農業構造を確立するため、認定農業者の育成、農業経営の法人化などの担い手育成対策や、農業経営基盤強化のための農地の利用集積推進に要した経費。

第14目 農業試験研究費（318頁）

予算現額 4億6,281万5,000円

支出済額 3億8,181万5,952円

繰越額 7,541万1,000円

不用額 558万8,048円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
農業技術開発推進費	1億3,807万円	農業の発展に資する高度な技術開発を推進するために要した経費。
水田農業の技術開発研究基盤整備事業費	1億530万円	新たなマーケット等に対応した水稻新品種の開発を迅速に進めることのできる世代促進温室を農業研究所に整備するために要した経費。

第2項 畜産業費 (320頁)

予算現額	9億 1,374万 3,000円
支出済額	5億 9,431万 2,639円
繰越額	3億 891万 8,000円
不用額	1,051万 2,361円

繰越額の主なものは、

高収益型畜産連携体育成事業費 3億 891万 8,000円

であり、鶏舎建設資材の予定工期内における調達困難などから、事業完了できなかつたことにより、やむを得ず繰り越したものであります。

また、不用額の主なものは、事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残であります。

以下、畜産業費の支出済額の内容をご説明申し上げます。

第1目 畜産振興費 (320頁)

予算現額	6億 8,940万 4,000円
支出済額	3億 7,345万 4,811円
繰越額	3億 891万 8,000円
不用額	703万 1,189円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
三重の畜産成長産業化促進事業費	1億6,039万1,000円	厳しい畜産経営環境の中、本県畜産業の成長産業化を図るため、生産コストの低減や、生産物の付加価値化等に向けた各畜種ごとの課題等の解決への取組等に要した経費。
食肉センター流通対策事業費	1億 229万6,180円	基幹食肉処理施設である四日市、松阪の各食肉センターの運営を担う(株)三重県四日市畜産公社、(株)三重県松阪食肉公社の安定的な経営と安全・安心な食肉流通の促進を図るために要した経費。

第2目 家畜保健衛生費 (322頁)

予算現額	1億 2,245万円
支出済額	1億 2,203万 4,847円
不用額	41万 5,153円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
家畜衛生防疫事業費	6,947万6,847円	高病原性鳥インフルエンザなど、家畜の監視伝染病の発生予防・まん延防止のための畜産農家への立入検査や、家畜の飼養衛生管理の指導に要した経費。
家畜衛生危機管理体制維持事業費	5,255万8,000円	高病原性鳥インフルエンザ等伝染病発生時の危機管理が円滑に対応できるよう、家畜保健衛生所の設備・機器の整備等に要した経費。

第3目 畜産業試験研究費 (324 頁)

予算現額 1億 188万 9,000円
 支出済額 9,882万 2,981円
 不用額 306万 6,019円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
畜産業試験研究管理費	6,318万5,930円	畜産研究所における一般運営管理及び家畜管理に要した経費。
畜産業技術開発推進費	3,563万7,051円	県内畜産業の生産性の向上につながる試験研究に要した経費。

第3項 農地費 (326 頁)

予算現額 160億 3,122万 1,000円
 支出済額 109億 7,243万 2,466円
 繰越額 49億 7,250万 3,000円
 不用額 8,628万 5,534円

繰越額の主なものは、

高度水利機能確保基盤整備事業費 18億 7,023万円
 県営かんがい排水事業費 12億 7,064万 7,000円
 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業費 9億 1,471万 5,000円
 県営ため池等整備事業費 2億 4,486万 6,000円

などであり、国の補正予算に伴う交付決定の時期などから、事業完了できなかったことによる繰越と、公共事業において施工に伴う協議・

調整等に不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

また、不用額の主なものは、事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残であります。

以下、農地費の支出済額の内容をご説明申し上げます。

第1目 農地総務費 (326頁)

予算現額	540万円
支出済額	491万4,024円
不用額	48万5,976円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
農地総務費	491万4,024円	過年度未登記処理等に要した経費。

第2目 土地改良費 (326頁)

予算現額	82億2,127万9,000円
支出済額	48億5,113万8,282円
繰越額	33億5,410万8,000円
不用額	1,603万2,718円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
高度水利機能確保基盤整備事業費	2.6億6,526万7,654円	農地の集積、大規模営農に取り組む意欲ある農業経営体の効率的な営農の実現に向け、用水路のパイプライン化など農業生産基盤の整備に要した経費。
県営かんがい排水事業費	1.1億2,310万8,570円	農業生産の基礎となる農業用水の確保、適期・適量供給及び農地排水の改良を図るため、水田、畑等における基幹的な農業水利施設の整備・更新に要した経費。
基幹農業水利施設ストックマネジメント事業費	8億1,171万3,000円	ダム、頭首工、機場、幹線水路等の基幹的施設で老朽化が進行している施設について、長寿命化を図るため、緊急に必要な補修、補強、更新工事に要した経費。

第3目 農地防災事業費 (328頁)

予算現額 39億7,572万7,000円

支出済額 25億2,041万7,671円

繰越額 14億5,220万円

不用額 310万9,329円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業費	9億632万9,000円	農地や人家等への多大な浸水被害を防止するための、排水機場等の土地改良施設について、農地等の湛水被害などの被災を軽減し、県民の安全を確保するため、施設の調査、改修及び設備更新に要した経費。

県営ため池等整備事業費	5億6,277万8,000円	ため池、頭首工、水路等の農業用排水施設の老朽化等により発生する、農地、農業用施設、公共施設、人家等への災害を未然に防止するための施設改修に要した経費。
農業用施設アスベスト対策事業費	4億6,837万2,193円	農業用排水施設等における石綿含有製品の撤去、入れ替え等を行うなど、石綿に起因する影響の未然防止に要した経費。

第6目 農地調整費 (330頁)

予算現額	2億2,292万8,000円
支出済額	1億6,225万4,752円
不用額	6,067万3,248円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
農業委員会及び農業委員会ネットワーク機構助成費	1億4,558万3,000円	農地制度の適切な運用による優良農地の確保や担い手の育成・確保、担い手への農地集積等の促進など、県農業会議及び市町農業委員会の業務に対して助成するために要した経費。

第7目 中山間振興費 (332頁)

予算現額	6億2,656万1,000円
支出済額	5億7,237万1,620円
繰越額	5,190万円
不用額	228万9,380円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
県営中山間地域総合整備事業費	3億4,672万7,999円	中山間地域における農業農村の活性化を図るため、地域の特性に応じた生産及び生活環境基盤の総合的な整備に要した経費。
中山間地域等直接支払事業費	2億 439万4,429円	農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生を未然に防止するため、平地との生産条件格差の一定額を農業者等に交付することに要した経費。

第8目 農村振興費 (334頁)

予算現額 18億 5,916万 8,000円

支出済額 17億 4,192万 8,221円

繰越額 1億 1,429万 5,000円

不用額 294万 4,779円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
日本型直接支払事業費	9億9,417万1,022円	農用地、水路、農道などの地域資源の基礎的な保全管理や地域の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動に対する支援に要した経費。
命と暮らしを守る農道保全対策事業費	3億 156万 999円	災害時の緊急避難路及び物資の輸送路を確保するため、基幹となる農道等の保全・安全対策のための整備に要した経費。
団体営農業集落排水整備促進事業費	2億2,287万6,200円	農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水、又は雨水を処理する施設整備に要した経費。

第9目 国営等推進費 (336頁)

予算現額	11億 2,015万 8,000円
支出済額	11億 1,940万 7,896円
不用額	75万 104円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
国営等関連対策事業費	11億 134万 7,797円	地域特性を生かした生産振興や、農産物の安定供給を図るための、大規模な国営農業利水事業等の負担金に要した経費。

第4項 林業費 (338頁)

予算現額	132億 1,223万 1,311円
支出済額	104億 8,656万 9,670円
繰越額	26億 3,770万 7,200円
不用額	8,795万 4,441円

繰越額の主なものは、

県単治山事業費	8億 7,148万 5,000円
治山事業費	7億 9,494万 8,000円
造林事業費	2億 2,246万 1,000円
原木安定供給促進事業費	2億 69万 4,000円

などであり、国の補正予算に伴う交付決定の時期などから、事業完了できなかったことによる繰越と、公共事業において施工に伴う協議・調整等に不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

また、不用額の主なものは、入札差金及び事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残であります。

以下、林業費の支出済額の内容をご説明申し上げます。

第1目 林業総務費 (338 頁)

予算現額 9,848 万 2,000 円
 支出済額 9,762 万 8,431 円
 不用額 85 万 3,569 円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
森林育成促進資金貸付金	9,506 万 3,820 円	森林の公益的な機能を守るため、森林管理等に関し県内の森林組合、三重県森林組合連合会が行う各種林業事業に必要な運転資金を融資するため、農林中央金庫への預託に要した経費。

第2目 林業振興指導費 (340 頁)

予算現額 42 億 639 万 4,429 円
 支出済額 37 億 8,169 万 6,952 円
 繰越額 3 億 7,753 万 8,000 円
 不用額 4,715 万 9,477 円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
合板・製材生産性強化対策事業費	31億6,350万円	「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、新たな国際環境の下で、生産性向上等の体質強化を図るための合板・製材工場等の施設整備に対する助成に要した経費。
森林整備加速化・林業再生基金事業費	2億4,269万7,173円	林内路網の整備、高性能林業機械等の導入による林業基盤の整備、木質バイオマス利用施設の整備等に要した経費。

第4目 森林病虫害防除費 (340頁)

予算現額	69万円
支出済額	68万2,260円
不用額	7,740円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
森林病虫害防除費	68万2,260円	森林病虫害等防除法に基づき、保安林等高度な公益的機能を有する松林を「保全すべき松林」に指定し、市町が実施する予防措置（薬剤の地上散布）の支援に要した経費。

第5目 造林費 (342頁)

予算現額	12億5,116万4,882円
支出済額	8億4,111万7,917円
繰越額	3億8,850万8,000円
不用額	2,153万8,965円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
災害に強い森林づくり推進事業費	4億4,400万5,917円	流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出及び治山施設等に異常堆積した土砂や流木の撤去等に要した経費。
造林事業費	2億9,442万2,000円	森林の計画的かつ適正な管理を促進し、森林の持つ公益的機能の高度発揮や、資源循環利用が可能な森林資源の質的充実を図る森林整備（国補事業）への助成に要した経費。

第6目 林道費（344頁）

予算現額 4億3,392万5,000円

支出済額 3億7,147万4,000円

繰越額 6,245万1,000円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
林道事業費	3億5,570万5,000円	森林の適正な維持管理により森林の有する公益的機能を高度に発揮させるとともに、林産物の安定供給に寄与するため、林道の開設や舗装の実施に要した経費。

第7目 治山費（346頁）

予算現額 48億9,332万3,000円

支出済額 32億2,684万9,872円

繰越額 16億6,643万3,000円

不用額 4万128円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
県単治山事業費	16億1,546万1,000円	山地に起因する自然災害から、県民の生命・財産を守るため、人家等に近接する山地災害危険地区などの荒廃森林の復旧や予防工事、既設施設の維持管理等に要した経費。
治山事業費	16億248万6,640円	山地に起因する自然災害から、県民の生命・財産を守るため、荒廃地及び荒廃移行地において、治山ダム工等による復旧及び予防工事を行い、また、荒廃の進んだ保安林の機能を向上させるため、本数調整伐等の森林整備に要した経費。

第8目 緑化対策費 (348頁)

予算現額 19億3,236万1,000円

支出済額 19億1,952万7,121円

不用額 1,283万3,879円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
みえ森と緑の県民税基金積立金	11億1,025万1,628円	「みえ森と緑の県民税」の税込額と、基金の年度末残高に対応する利子相当額を「みえ森と緑の県民税基金」へ積み立てるのに要した経費。

みえ森と緑の県 民税市町交付金 事業費	7億2,563万4,204円	市町が地域の実情に応じて創意工夫して、森林づくりの施策を展開するための交付金の交付に要した経費。
---------------------------	----------------	--

第9目 森林総務費 (350頁)

予算現額	1億	689万9,000円
支出済額	1億	251万1,687円
繰越額		411万1,000円
不用額		27万6,313円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
森林環境創造事業費	9,583万1,408円	環境林について、森林所有者から公共財として長期間森林の提供を受け、水源かん養・県土保全等の公益的機能を高度に発揮させるため、市町と林業事業体が連携して行う持続的な森林整備の助成に要した経費。

第10目 林業試験研究費 (350頁)

予算現額	2,502万6,000円
支出済額	2,427万4,795円
不用額	75万1,205円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
林業試験研究管理費	1,971万3,679円	林業研究所の運営並びに施設の設備・機器等の維持管理及び整備等に要した経費。

第11目 野生生物共生費 (352頁)

予算現額	220万 2,000円
支出済額	198万 2,011円
不用額	21万 9,989円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
野生生物保護事業費	159万8,205円	野生動物に対する保護意識の啓発を図るポスターコンクール、第12次鳥獣保護管理事業計画に基づく傷病野生鳥獣救護の実施、また自然環境保全指導員による巡視活動や情報収集に要した経費。

第12目 自然公園費 (354頁)

予算現額	2億 6,176万 4,000円
支出済額	1億 1,882万 4,624円
繰越額	1億 3,866万 6,200円
不用額	427万 3,176円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
自然公園ナショナルパーク化促進事業費	9,843万5,848円	世界水準のナショナルパーク化を目指す伊勢志摩国立公園の自然歩道や園地の整備等に要した経費。
自然公園利用促進事業費	2,031万5,554円	東海自然歩道、近畿自然歩道等県内7施設の維持管理委託等に要した経費。

第5項 水産業費 (354頁)

予算現額	38億 6,796万 7,000円
支出済額	29億 2,027万 9,296円
繰越額	9億 953万 1,000円
不用額	3,815万 6,704円

繰越額の主なものは、

県営水産物供給基盤機能保全事業費 2億 3,059万 5,000円

県営受託漁港海岸保全事業費 1億 8,517万円

市町営水産物供給基盤機能保全事業費 1億 6,833万 6,000円

などであり、公共事業において施工に伴う協議・調整等に不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

また、不用額の主なものは、事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残であります。

以下、水産業費の支出済額の内容をご説明申し上げます。

第1目 水産業振興費 (354頁)

予算現額	2億 7,763万円
支出済額	2億 3,439万 1,164円
繰越額	1,700万円
不用額	2,623万 8,836円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
強い水産業づくり施設整備事業費	1億9,899万9,590円	水産物の安定供給の確保及び水産業の健全な発展を実現するため、漁業協同組合等が実施する共同利用施設整備に対する助成に要した経費。

第2目 水産業協同組合指導費 (356頁)

予算現額 60万 3,000円

支出済額 58万 1,119円

不用額 2万 1,881円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
漁業協同組合組織強化事業費	58万1,119円	漁協の経営改善に向け合併推進活動を行うとともに、合併推進経費等の一部助成に要した経費。

第3目 漁業取締費 (356頁)

予算現額 9,817万 1,000円

支出済額 9,509万 8,900円

不用額 307万 2,100円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
漁業取締船整備費	6,609万9,807円	漁業取締船「神島」の定期検査に要した経費。

漁業監督費	2,899万9,093円	漁業秩序を維持するため、関係機関等との連携を密にした漁業取締業務の実施、並びに、漁業取締船及び附属艇の機能維持管理に要した経費。
-------	--------------	--

第4目 漁港管理費 (358頁)

予算現額	417万 8,000円
支出済額	371万 626円
不用額	46万 7,374円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
漁港管理費	371万 626円	県営漁港の維持管理等に要した経費。

第5目 資源管理費 (358頁)

予算現額	7,606万 7,000円
支出済額	7,489万 6,649円
不用額	117万 351円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
栽培漁業推進事業費	5,796万6,568円	県内のつくり育てる漁業を促進するため、(公財)三重県水産振興事業団に委託し、三重県栽培漁業センターにて行った種苗の生産及び供給に要した経費。

第6目 水産基盤整備費 (360頁)

予算現額	31億 9,851万 3,000円
支出済額	23億 495万 4,803円
繰越額	8億 9,253万 1,000円
不用額	102万 7,197円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
県営水産生産基盤整備事業費	4億3,582万7,000円	水産物の生産機能強化を図るための漁港施設整備、並びに大規模地震発生時における緊急物資の輸送拠点としての機能強化整備に要した経費。
海女漁業等環境基盤整備事業費	3億3,357万1,440円	海域環境の悪化等により、漁業生産力及び水質浄化機能の低下が著しい沿岸海域における自然浄化能力の再生を図るため、藻場造成に要した経費。
三重の未来を紡ぎ繋げる漁業振興事業費	2億7,931万1,000円	閉鎖性海域の英虞湾における青ノリ・真珠等の品質向上及び海域環境の改善を図るため、堆積汚泥の浚渫に要した経費。

第8目 海区漁業調整委員会費 (362頁)

予算現額	1,687万 5,000円
支出済額	1,601万 2,763円
不用額	86万 2,237円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
漁業調整委員会総務費	1,601万2,763円	漁業法による海面漁業の調整機構である海区漁業調整委員会の運営に要した経費。

第9目 内水面漁場管理委員会費 (364頁)

予算現額	377万5,000円
支出済額	354万5,083円
不用額	22万9,917円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
内水面漁場管理委員会総務費	354万5,083円	漁業法による内水面漁業の調整機構である内水面漁場管理委員会の運営に要した経費。

第10目 水産業試験研究費 (364頁)

予算現額	1億262万2,000円
支出済額	1億67万3,557円
不用額	194万8,443円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
水産業技術開発推進費	5,336万5,764円	産地間競争力を高める技術開発、持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発、環境保全のための技術開発に要した経費。

水産業試験研究管理費	4,730万7,793円	水産研究所庁舎、所属船等の維持管理等に要した経費。
------------	--------------	---------------------------

第11目 水産業経営対策費 (366頁)

予算現額	8,953万3,000円
支出済額	8,641万4,632円
不用額	311万8,368円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
漁業近代化資金融通事業費	6,090万4,240円	漁業者の資本装備の高度化と経営の安定化及び近代化に必要な融通資金に対し、利子補給・補助を行い、適正かつ効果的な推進を図るために要した経費。
漁業共済推進事業費	1,806万6,064円	養殖業の漁業経営の安定化を図るため、異常な赤潮による損害を補填する養殖共済の赤潮特約に係る掛金の一部補助、並びに漁業の再生産及び経営の安定化を図るため、漁業共済制度の普及啓発と加入促進に要した経費。

第11款 災害復旧費 (464頁)のうち、当部関係は、

予算現額	16億6,495万7,000円
支出済額	3億4,391万2,126円
繰越額	9億6,181万9,000円
不用額	3億5,922万5,874円

繰越額の主なものは、

団体営災害耕地復旧事業費	6億3,205万8,000円
--------------	----------------

林道施設災害復旧事業費 2億 1,379万 3,000円

であり、主な理由としましては、工法等の検討や地元調整、年度末の荒天等により不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

不用額の主なものは、事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残等であります。

以下、項目ごとにご説明申し上げます。

第1項 農林水産施設災害復旧費（464頁）

予算現額	16億 5,995万 7,000円
支出済額	3億 4,391万 2,126円
繰越額	9億 5,681万 9,000円
不用額	3億 5,922万 5,874円

繰越額の主なものは、団体営災害耕地復旧事業費及び林道施設災害復旧事業費で、工法等の検討や地元調整、年度末の荒天等により不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

不用額の主なものは、事業の実施精査に伴う事業費の減等による執行残等であります。

以下、農林水産施設災害復旧費の支出済額の内容をご説明申し上げます。

第1目 耕地災害復旧費（464頁）

予算現額	10億 2,823万 1,000円
支出済額	2億 6,331万 7,126円
繰越額	6億 3,205万 8,000円
不用額	1億 3,285万 5,874円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
団体営災害耕地復旧事業費	2億6,331万7,126円	農地・農業用施設の災害復旧を迅速に行い、農業経営の安定と食料の安定供給に要した経費。

第2目 林野災害復旧費（464頁）

予算現額	5億 9,416万 7,000円
支出済額	6,109万円
繰越額	3億 670万 7,000円
不用額	2億 2,637万円

となっております。

支出済額の主なものは、

事業目	支出済額	説明
林道施設災害復旧事業費	6,103万4,000円	平成27年、28年及び29年に被災した林道の復旧に要した経費。

第4目 海岸災害復旧費（466頁）

予算現額	3,755万 9,000円
------	---------------

支出済額 1,950万 5,000円

繰越額 1,805万 4,000円

となっております。

支出済額の内訳は、

事業目	支出済額	説明
県営海岸保全施設等災害復旧事業費	1,950万5,000円	被災した海岸保全施設の災害復旧を迅速に行い、施設の機能回復を図るために要した経費。

第3項 自然公園等施設災害復旧費（474頁）

第1目 自然公園等施設災害復旧費（474頁）

予算現額 500万円

繰越額 500万円

繰越額は、工法等の検討や関係機関等との調整に不測の日数を要したため、やむを得ず繰り越したものであります。

以上が、農林水産部所管の一般会計平成29年度歳入歳出決算の概要でございます。

引き続き、特別会計につきまして、ご説明申し上げます。

三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算事項別明細書（530頁）につきまして、ご説明申し上げます。

この会計は、過去に農業者に対して貸し付けた農業改良資金と就農施設等資金の償還管理を行うものであります。

【歳入決算】

まずは、歳入決算について、ご説明申し上げます。

歳入につきましては、一般会計からの繰入金、前年度からの繰越金、貸付金元利収入等の諸収入であります。

予算現額	1億 1,709万 8,000円
調定額	1億 6,093万 7,345円
収入済額	1億 1,898万 1,776円
収入未済額	4,195万 5,569円

収入未済額は、債務者の経営の悪化等により、貸付金等の償還が滞ったものであり、これらについては分割弁済等により、債権回収に努めているところであります。

【歳出決算】

次に、歳出決算について、ご説明申し上げます。

歳出につきましては、一般会計への繰出金、国への償還金等であり
ます。

予算現額	1億 1,709万 8,000円
支出済額	8,110万 8,738円
不用額	3,598万 9,262円

不用額の主なものは、予備費の不執行であります。

次に、三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算事項別明細書(538頁)につきまして、ご説明申し上げます。

この会計は、公正で効率的な取引を通じて、県内の消費者に安全で

多様な生鮮食料品を安定的に供給するとともに、生産者の安定した販売ルートを確保するため、三重県地方卸売市場の運営等を行うものであります。

【歳入決算】

まずは、歳入決算について、ご説明申し上げます。

歳入につきましては、使用料及び手数料、一般会計からの繰入金、前年度からの繰越金、負担金徴収などによる諸収入、県債であります。

予算現額	2億 5,853万 4,000円
調定額	2億 6,390万 1,451円
収入済額	2億 5,857万 3,089円
収入未済額	532万 8,362円

収入未済額は、既に退場した業者の施設使用料等で、経営不振による滞納であり、分割納付等により引き続き債権回収に努めてまいります。

【歳出決算】

次に、歳出決算について、ご説明申し上げます。

歳出につきましては、市場一般管理費の他、市場施設の整備及び保守管理に要する施設管理費、県債償還金であります。

予算現額	2億 5,853万 4,000円
支出済額	2億 5,668万 8,363円
不用額	184万 5,637円

不用額の主なものは、委託料の入札差金等による執行残であります。

次に、三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算事項別明細書（546頁）につきまして、ご説明申し上げます。

この貸付事業は、林業・木材産業経営者等の経営改善、労働災害防止及び林業後継者育成のための貸付等を行うものであります。

【歳入決算】

まずは、歳入決算について、ご説明申し上げます。

歳入につきましては、一般会計からの繰入金、前年度からの繰越金、貸付金元利収入等の諸収入、県債、出資先の不動産売払に伴う財産収入であります。

予算現額	8億 1,451万 5,000円
調定額	8億 2,942万 4,729円
収入済額	8億 1,420万 656円
収入未済額	1,522万 4,073円

収入未済額は、林業経営の悪化等により、貸付金の償還が滞ったものであり、これらについては分割弁済等により、債権回収に努めているところであります。

【歳出決算】

次に、歳出決算について、ご説明申し上げます。

歳出につきましては、林業改善資金貸付金等であります。

予算現額	8億 1,451万 5,000円
支出済額	5億 1,126万 2,140円
不用額	3億 325万 2,860円

不用額の主なものは、貸付金の執行残及び予備費の不執行であります。

次に、三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算事項別明細書（556頁）につきまして、ご説明申し上げます。

この貸付事業は、沿岸漁業従事者の経営改善、生活改善及び青年漁業者等養成のための貸付等を行うものであります。

【歳入決算】

まずは、歳入決算について、ご説明申し上げます。

歳入につきましては、一般会計からの繰入金、前年度からの繰越金、貸付金元利収入等の諸収入であります。

予算現額	3億 3,132万円
調定額	3億 5,752万 8,764円
収入済額	3億 3,090万 6,037円
収入未済額	2,662万 2,727円

収入未済額は、漁業経営の悪化等により、貸付金の償還が滞ったものであり、これらについては分割弁済等により、債権回収に努めているところであります。

【歳出決算】

次に、歳出決算について、ご説明申し上げます。

歳出につきましては、沿岸漁業改善資金貸付金等であります。

予算現額	3億 3,132万円
------	------------

支出済額 25万 1,707円

不用額 3億 3,106万 8,293円

不用額の主なものは、貸付金の執行残及び予備費の不執行であります。

以上が、農林水産部所管の特別会計平成29年度歳入歳出決算の概要でございます。

以上をもちまして、農林水産部所管の平成29年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。